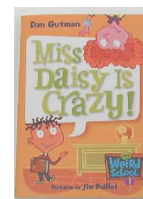


多読クラブ会員の皆様へ

書籍追加、その他のお知らせ（2006年12月）

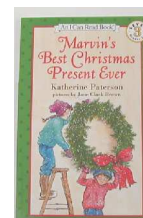
●Miss Daisy Is Crazy! YL : 3.0 総語数 : 6,400

My Weird School シリーズの#1。2年生のA.J.が学校が大嫌いと言えば、担任のMiss Daisyも大嫌いだと言う。A.J.が算数が嫌いと言うと、またまたMiss Daisyも大嫌いと言う。しかもMiss Daisyは算数だけではなく読み書きもできないので生徒に教えてほしいとお願いする。ある日、生徒達はある計画のために学校を買い取りたいと言い出す。校長のKlutsに相談すると、売ることはできないが、生徒達があわせて100万ページの読書を達成すれば一晩学校を貸すと言う。さてどうなるでしょう。



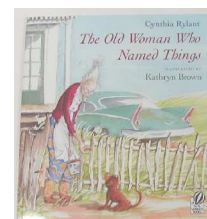
●Marvin's Best Christmas Present Ever(I Can Read 3) YL : 1.8 総語数 : 800

MarvinはMomとDadへのクリスマスプレゼントをどうするか悩んでいます。そこで思いついたのはクリスマス・リースを作ること。素敵なリースができて、喜んでもらえて、大満足。しかし年が明けてクリスマスの飾りを片付けなければいけなくなります。Marvinはこんなに素敵なリースを片付けたくありません。おとうさんもおかあさんもそのままがいいよと言ってくれます。しかしリースの葉はだんだん色が変わってきます。Marvinはいつまでこのリースを飾っておけるのでしょうか？挿し絵と共に暖かい雰囲気の流れるお話です。



●The Old Woman Who Named Things YL : 1.7 総語数 : 1,500

町はずれにたった一人で暮らしているおばあさんがいました。知り合いはもうみんなこの世にはなく、手紙ひとつ来ない毎日です。彼女は身の回りの、それも自分よりも長生きしそうなものに名前を付けていきます。車にはBetsy、いすにはFredというように…ある日、小さな茶色の犬がその家にやって来ます。彼女は毎日、その犬にえさをやりますが、飼おうとはしません。もうこれ以上自分より先に死ぬかもしれないものとは、名前をつけるような関係を持ちたくなかったのです。ところが毎日やって来るはずの犬が来なくなって… 限りある生や、孤独、その中での出会いなど深いものも感じられ、大人にも十分な満足感を与えてくれます。



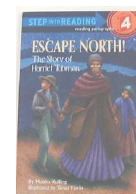
●The Friends YL : 4.5 総語数 : 54,000

近所に「もうすぐ死ぬ」と噂されているおじいさんがいるのを知った主人公は友人ふたりとおじいさんを観察することにします。「観察」されていることに勘付いたおじいさんはいつのまにか元気になって、やがて、小学生3人とおじいさんの間に不思議な友情が芽生えていきます。しかし…。湯本香樹実「夏の庭」の英訳版です。優秀な外国児童文学作品に贈られるMilred L. Batchelder賞を受賞しています。”Japanese Stand by Me”というレビューが、この本をよく表現していると思います。語数は多いですが、会話が多いためテンポよく読めます。



●Escape North! (Step Into Reading 3) YL : 1.8 総語数 : 2,000

これはHarriet Tubmanという黒人女性のお話。奴隷制度で自由のなかった黒人の、北部への逃亡を手助けする組織で活躍し、多くを助けた女性。易しいですが、読み応えのある一冊。



いじめや対人関係などの重いテーマの多いJacqueline Wilsonのやさしめが3冊追加です。

●The Monster Story-teller Jacqueline Wilson 著 YL : 2.0 総語数 : 2,100

退屈していたNatalieの前に小さなモンスターが現れました。そのモンスターの手を握ると、なんとNatalieは小さくなってしまいました。そしてNatalieはモンスターと一緒に空飛ぶお皿に乗って学校を飛び出しました！



●My Brother Bernadette Jacqueline Wilson 著 YL : 2.8 総語数 : 4,000

My brotherなので本当はBernardという名前の男の子です。なぜBernadetteなんて女の子の名前が？いやいやながら小さなBernard君はお姉さんに連れられてサマープロジェクトに行くことになります。そこでは色々なプロジェクトがあり、コンピュータ、ドラマ、フットボール等好きなものに参加できます。あまりどれも興味を持たない彼ですが木で作る車には興味を持ちゆっくりながら動くものが完成！そこに年長の子が来てわざとドッシンとぶつけ、彼と車と吹き飛ばしてしまいます。彼が思わず涙をこぼすと「可愛そうな子、なんて可愛そうなBernadetteちゃん」とからかわれ、そこからみんなそう呼ぶようになったのです。帰ってきた彼はもう二度と

行きたくないと言ったのですが、父親の命令で仕方なく翌日もプロジェクト参加。そこで Bernard 君が見つけたものは？小さな男の子がほんのすこし少年に近づいていく成長がほほえましいです。

●Monster Eyeballs Jacqueline Wilson 著 YL：1.8 総語数：900

Mark はクラス一のイヤなやつ。いつも、Kate をいじめます。お兄さんに言いつけたら、兄同士の喧嘩になってしまいました。でもなぜか、喧嘩の後に二人は大親友に。お兄さんの誕生日パーティに、Mark のお兄さんが Mark をつれてきてしまいます。楽しい誕生日に暗雲が。。



●Little Witch Goes to School (Step-Into-Reading 2) YL：1.5 総語数：800

魔女なので悪いコになると言われても、つつい良いことをしてしまう Little Witch のシリーズ。今回ははじめて学校に行きます。お母さん魔女は、勉強せず友だちも作らない悪いコでいなさいと言いますが、小さな魔女は思いきり学校生活を楽しみます。初めての体験に夢中になる魔女が微笑ましいシリーズ。文章はやや多めですが比較的読み易く、呪文では言葉遊びも楽しめます。



●Harriet Tubman and the Freedom Train (Ready-to-Read, Level 3) YL：1.1 総語数：1000

奴隷の身から自由になったあとも、奴隷州へ潜入しては同胞を自由州へ導いた女性 Harriet Tubman の物語。勇気の出る一冊。

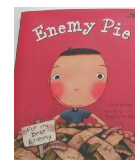
●Crayon Shinchan YL：2.7 総語数：9,600

おなじみ、クレヨンしんちゃんのマンガの英語版です。



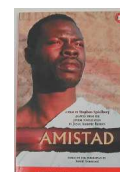
●Enemy Pie YL：1.8 総語数：1000

ほのぼの系の絵本です。わりと読み応えがあり、私ヘンミの一押しです（実は私物）。ちょっと大きめなので借りていくには重いかも。



●Amistad (PGR3) YL：3.2 総語数：8700

スピルバーグ監督の映画のリライト版。Amistad は実存するスペインの奴隷船である。チンクたちアフリカ人は奴隷として船に乗せられた。しかし彼らは戦い、船員を殺してしまう。アメリカにつき、裁判が開かれる。かれらは正義のために戦ったのか、それともただの殺人者か。奴隷制度、アメリカの法律、正義と悪。チンクの運命はいかに？



●多聴多読マガジン

初刊は Amazon の雑誌部門で長く 1 位をキープ。雑誌としては異例の増刷までされたそうです。これはその第 2 巻。まず、ジャンル別聞きやすさがマップで示されています。映画やドラマも同様のマップで紹介されています。ニュースも 12 サイトの特色が解説されています。画面見本つきでウェブサイトと Podcast の両方の URL が紹介される親切ぶり。今月号も快聴快読ライブラリーで、レベル別に 4 冊の本とその朗読音源を収録。シャドーイング、英文日記で「アウトプット」の練習、巻末には「読み」に重点を置きたい人のための多読好適本の紹介がジャンル別に紹介されています。



お知らせ

毎月末に入荷している英語小冊子 Catch a Wave(YL:2.5 くらい)は会員の希望者のかたに無料で差し上げています。ご希望の方は受付にて予約をお願いします（一度予約すると基本的に毎月継続配布します）。